

「ふれあいウォーク名東」取材しました！

チーム名東は、2008年11月3日（月・祝日）に明德公園で行われた「ふれあいウォーク名東」取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部2年生の岩間絵里佳と草田梨愛です。それでは当日の様子をレポートします！

「ふれあいウォーク名東」は名古屋市が行っている「なごやかウォーク」の一環に位置づくものです。「なごやかウォーク」は春と秋を中心に、市内16区の選りすぐりのコースを歩くもので、今後も「なごやかウォーク守山」「天白なごやかウォーク」「中区ファミリージョギング&ウォーキング大会」「南区さわやか大会」「見上げてごらん金シャチウォーク09」など各区で行われます。参加するとそれぞれ趣向を凝らした「参加バッジ」がもらえるのでそれを集めるのも楽しみのひとつ。ぜひ日程や場所を名古屋市公式ホームページでご確認ください！



さて、明德公園で行われた「ふれあいウォーク名東」には、子どもからお年寄りまでのさまざまな年齢層の250名以上が集まりました。会場の明德公園には、四季を通して鳥・虫・花を観察することができ、里山の雰囲気を楽しむこともでき、また中央にある明德池は市民のつり池となっています。わたしたちは河川敷の4キロのコースを思い思いのペースで歩きました。

取材した1組目は、おじいさんとおばあさん、そしてお孫さんの3人組での参加でした。今回が初めての参加ということです。普段は名東区に住んでいないお孫さんが久しぶりに帰ってきたので、コミュニケーションを取ることも兼ねてみんなで参加されたそうです。3人で手を繋いで、和気藹々とウォーキングを楽しまれていました。取材した2組目は、参加10回目のベテランの男性です。「なごやかウォークの他のイベントにも参加しているから今回も参加しました。このイベントは名古屋の知らないところを歩くので、こんな所もあるのかと新しい発見があるからとてもよいです。まだイベントがあるので他の所も歩きたいと思っています」とお話をされていました。



イベントにはウォーキングだけでなくゲームコーナーがあり、子ども達が楽しめるような工夫がされていること、さらに、スタンプラリーになっていて他のイベントにも参加してもらえるように発展的な工夫がされているところがとてもよいと感じました。

4kmという道のりは、歩く前はすごく長く感じましたが、河川敷を歩くためとても気持ちがよく、あっという間でした。参加された方々も、疲れたという表情ではなく、すがすがしい表情をされていました。とても楽しかったので、私たちもまた「なごやかウォーク」に参加したいと思います！